

## 京機カフェ：産業遺産探訪 オープニング・アナウンス

技術と産業の歴史を一緒に勉強してゆこうと「京機カフェ：産業遺産探訪」を開設します。開設の趣旨は以下の通りです。

現在では、変化の速度が速い上に分業化が進んで、関っている技術の全体像と社会的な位置が見え難くなっています。自分が現に関っている技術の全体像をしっかりと把握し、それが外の社会とどのように繋がっているかを常に意識していることは、責任を持って仕事を進めている技術者としては当然のことであるのは論を俟ちません。

分業化し単純化した仕事をただ言われるままやみ雲にやっているのは虚しいことです。全体像が把握されていない時には、今の仕事の方向を誤る恐れもあります。上のような責任ある技術者の仕事をしっかりとやるには日頃からの心がけに加えて知識と経験の積み上げが要ります。

このための路はいろいろとあるでしょうが、その一つとして時々には只今の問題を離れてみることはいかがでしょうか。例えば、既に完成し役割を終えた過去の技術に目を配って、その発生、発展、成熟、そして終焉のサイクルを追い、それが働いた社会との関係を調べる。このようなことを通じて、技術の流れを連続した一つの生命の流れとして把握することができます。

このようなケーススタディを重ねることによって、技術と社会への理解が深まります。技術を含め世の中の事は繰り返すと言われているので、現今の問題解決に何がしかの寄与があることもまた期待できます。技術の歴史を知るとは、今まで知らなかった世界を覗いてみる楽しさに加えて、複雑多岐な技術と社会の関係への見聞を広め理解を深めることで、現在と将来の自分自身をさらに豊かにすることにも繋がるでしょう。

技術を通してより広い展望、より深い理解、より確かな自信に至るための一つの門として、技術と産業の歴史の勉強という入口を設営しました。取り敢えずは、博物館に収まった展示品を通して、その当時の技術と社会の流れを見ることから始めたいと思っています。興味を持っていただける方、志を共にされる方々のご来訪をお待ちします。

担当：並木宏徳  
小浜弘幸